

令和2年度第2回学校給食センター運営委員会 会議録

1 日時

令和3年2月8日（月）15時から16時

2 場所

西部学校給食センター食堂

3 出席者

中村委員、栢木委員、赤羽委員、古屋委員、林委員、山条委員、小松委員、吉澤委員、山田委員

※ 小松委員は、代理者が出席

4 事務局

横内教育部長、清澤学校給食課長、三沢課長補佐、細川課長補佐、鳥羽課長補佐、三沢係長、門野係長、斉藤栄養教諭、山田栄養教諭、田中主任、渡辺会計年度職員

5 会議の概要

(1) 開会

(2) 教育部長あいさつ

(3) 議事

(協議事項)

- (ア) 令和3年度学校給食センター事業の取組み（案）について資料に基づき説明を行い、以下の質疑応答があった。

(委員)

耐用年数がきている波田・梓川給食センターの2施設について、建て替えの検討状況を教えてください。

(清澤課長)

波田は49年、梓川は32年が経過しドライ運用を行っており、西部も20年経過する中で、それぞれ建て替え等が待ったなしの状況です。

あり方検討会から提言を受け、波田・梓川センターを統合するのか現地建て替えをするのか、比較をしながら検討を続けていますが、まだ予算化ができていない状況です。

新年度に実施計画という向こう3年間の計画を立てる中で再検討するよう指示が出ていますので、しっかりとした資料で予算を確保し、早目に計画を推進したい、そのような段階です。

(報告事項)

- (ア) 令和2年度学校給食費の収納状況について資料に基づき説明を行い、質疑応答なし

- (イ) 令和3年度学校給食費予算（案）について資料に基づき説明を行い、質疑応答なし

- (ウ) 給食用食材の放射性物質測定について
資料に基づき説明を行い、質疑応答なし
 - (エ) 学校給食用牛乳の供給形態について
資料に基づき説明を行い、質疑応答なし
 - (オ) 令和元年度児童生徒の食に関する実態調査の結果、県農産物を活用した
学校給食提供「食べて応援献立」の実施報告について
資料に基づく説明と学校配布用に作成したDVD（約6分）を視聴し、
質疑応答なし
- (4) 各委員からの意見・感想

(委員)

せっかく、こういう良い資料があるので、学校はもちろん市民にも広く知らせていただいて、市全体でこの調査結果が活かされればいいと思います。

(委員)

私からは、お礼と要望それぞれ2つ、話をしたいと思います。

昨年度、公会計化の準備のため、忙しい年度末を過ごされたと思いますが、その後は、長期にわたり臨時休校が続きました。

そのような状況があったにも関わらず、安定して給食を提供し続けてくれた給食センター関係者の皆さんに改めてお礼を言いたいと思います。

2つ目ですが、松本市の実態に応じた朝食指導やプレミアム牛など食べて応援献立を含めて、現実的な対応をしてもらい、本当にありがたく思います。

私のいます芳川小4年生が朝食指導を受けましたが、やはり担任が話を
するよりも給食の作り手からの話は違います。

この取組みをぜひ他の学校にも広げていってもらいたいと思います。

次に要望ですが、学校現場では、学校運営ガイドラインに沿って授業や給食などを行っていますが、簡易給食の検討という文言があります。

長野市等では簡易給食が実施された訳ですが、松本市で簡易給食を実施しないという判断に至った経過を情報発信してもらえるとありがたいです。

私は、簡易給食をしてほしいと思っている訳ではなく、先程、来年度の事業の取組みの中にもあった安心でおいしい給食、健康な身体を作るための大切な食である、食育を大切にしているなど松本市の方針の下、簡易給食も検討しましたが、やはり栄養バランスを大事に考え提供しますでいいと思います。

もう1つ、給食を食べることについては、同じ方を向き静かに食べていますが、感染防止の観点からすると配る、片付けるということがとても大変で、牛乳ビンに関する要望が出たことも分かります。

そんな中、特に低学年の子たちが、レベル4以上の時には、自分の給食は自分で持っていき、おかわりは誰が持ったか分からないしゃもじなどを使わないよう始めに盛り付けた以上はしないなど、いろいろな工夫をして取り組んできました。

また、そんな様子を見ていただきながら、一緒に考えていただけるとありがたいです。

(委員)

学校では、目の前に出されたものが自然に出てきて、ただ自動的に食べればいいという感覚の生徒が多いのですが、映像にあった飼育している様子や調理している様子など、給食が出てくるまでの背景を鑑みることはとても大事なことだと感じました。

また、うちの生徒にこのDVDを見せると食に対する意識が変わってくるように思います。

中学3年生は、卒業すると給食から遠ざかる訳ですが、自分で弁当が作れるようにメニューを配っていただくなど、いろいろ考えていただきありがとうございます。

(委員)

実態調査の結果を出していただきましたが、朝食をしっかりと食べてもらいたいという目標がある中で、実態としては喫食率の減少傾向がみられます。

それを踏まえ、先程、芳川小の4年生を対象に朝食指導を実施したという説明がありましたので、来年度はぜひ多くの学校への訪問を計画していただき、次の調査での良い結果を期待します。

子どもたちにとって、担任の先生よりも外部の人から話を聞くことで効果があると感じています。

(委員)

給食センターから人気のあるメニューのレシピや、うちの子どもは中学3年生なので高校へ行ったらお弁当を作ってみましょうという冊子をいただきました。

子どもが興味を持っていますし、私もレシピを楽しみにしていますので、ぜひ続けていただきたいと思います。

(閉会)